

葛飾区保健医療実態調査の結果について

1 概要

令和6年度に改定予定の「かつしか健康実現プラン」の基礎資料として、区民の栄養、食生活、健康状態及び運動等の実態と、区内の事業所の健康経営の取組状況等を把握することを目的に「葛飾区保健医療実態調査」を実施したため、その結果を報告いたします。

2 調査内容

(1) 区民向け調査

| | |
|--------|------------------------|
| ア 調査時期 | 令和5年7月13日～8月4日 |
| イ 調査対象 | 満18歳以上の区民 |
| ウ 対象者数 | 2,400人 |
| エ 調査方法 | 郵送配布、郵送またはインターネットによる回答 |
| オ 回答状況 | 有効回答数991、有効回答率41.3% |

(2) 事業所向け調査

| | |
|----------|------------------------|
| ア 調査時期 | 令和5年7月13日～8月4日 |
| イ 調査対象 | 従業員10人以上の事業所 |
| ウ 対象事業所数 | 700事業所 |
| エ 調査方法 | 郵送配布、郵送またはインターネットによる回答 |
| オ 回答状況 | 有効回答数350、有効回答率50.0% |

3 調査結果

葛飾区保健医療実態調査報告書概要版及び
葛飾区保健医療実態調査報告書のとおり

4 まとめ

(1) 区民向け調査

回答者は、60歳以上の割合が45%を超えており、年齢層が高くなっています。

前回調査（平成29年度調査）と比較すると、健康づくりに取り組む区民は増加しており、定期健診及びがん検診の受診状況も改善されています。特に歯の健康に対する意識は高くなっており、歯科医院での定期的な健診の受診や、デンタルフロス・歯間ブラシを使用する割合が増えています。

喫煙率も改善され、受動喫煙についても大きく改善されています。

精神保健・自殺対策については、「自分の居場所がない」と感じる区民や、自殺を考えたことがある区民の割合は低くなっています。男性は勤務関係の問題、女性は家庭の問題による悩みが高い傾向にあります。また、睡眠時間が短いと自殺を考えたことがある割合が高くなる傾向があります。

食生活については、朝食を必ず取る割合が減少しており、特に若い世代は低い傾向にあります。

また、健康に関する情報について、若い人ほどSNSにより情報を入手している割合が高く、広報かつしかや区ホームページだけでなく、SNSを通しての情報発信が重要であると考えられます。

(2) 事業所向け調査

回答事業所は、19人以下の事業所が4割を超えており、小規模な傾向にあります。定期健康診断の実施については9割以上の事業所で実施されており、受診状況の把握もされています。一方で、がん検診については、実施している事業所が3割程度となっていることから、葛飾区またはお住いの地域のがん検診を利用してもらうよう、周知を行う必要があると考えられます。

健康経営については、健康経営という言葉の認知度は半数を超えています。実際に取り組んでいる割合はまだ少ない状況です。区の支援で必要とされているものとしては、補助金、助成金が最も多くなっていますが、健康に関する情報提供、取組事例の紹介を求める割合も高く、区からの情報発信が重要と考えられます。

本調査の結果を踏まえ、次期かつしか健康実現プランの策定の検討を進めてまいります。